

資料 2-1

公益財団法人盛岡市文化振興事業団平成25年度自己評価表

※評価の基準

- 1 目標が達成できていない
- 2 目標が達成できていない面がある
- 3 目標が達成できた
- 4 目標よりも優れて達成できた面がある
- 5 目標よりも優れて達成できた

【法人運営】

評価項目	評価	備考
1 目的に添った運営に努めている	3	
2 職員の資質の向上に努めている	3	
3 適正な人員配置に努めている	3	
4 経費の縮減に努めている	4	
5 個人情報適正に管理されている	3	

現状と課題

- ・管理施設の増加に伴い、業務や事業の範囲が広がってきている。このため、それぞれの分野における職員の専門性を高める研修等の実施が急務となっている。
- ・公益財団法人への移行に伴う公益法人会計の変更や細分化、管理施設の増加に伴い、事務の細分化、業務や事業の範囲が広がってきているため、経理システム等の活用を充実させ事務の効率化や一体管理等をより一層進めていく必要がある。
- ・管理施設の増加、洪水、東日本大震災等の自然災害への対応を教訓に、危機管理体制の確立やマニュアルの整備を進める必要がある。

【芸術鑑賞事業】

評価項目	評価	備考
1 ホール特性・設備機能を活かした事業を実施している	4	
2 市民ニーズを把握した事業を実施している	4	
3 計画通りの入場者数を達成することができた	2	
4 計画通りの収入率を達成することができた	3	
5 計画通りの来場者満足度を達成することができた	5	

現状と課題

- ・一部目標入場者数に達しない事業もあったが、収支ベースでは当初計画を上回る実績となった。
- ・アンケート等によると、鑑賞者の満足度は非常に高い。今後とも市民ニーズを分析しながら、各文化会館の特性を活かした事業実施に努めたい。
- ・事業規模の大きいものや、収支比率バランスの悪い事業には、外部資金導入を意識的に行ってきたが、今後も獲得に努めたい。

【文化会館活動事業】

評価項目	評価	備考
1 ホール特性・設備機能を活かした事業を実施している	4	
2 市民ニーズを把握した事業を実施している	4	
3 計画通りの参加者数を達成することができた	3	
4 計画通りの収入率を達成することができた	3	
5 計画通りの来場者満足度を達成することができた	5	

現状と課題

- ・コンサートや鑑賞を伴う事業の参加者は前年より増加しており、満足度も高い。
- ・体験型の講座・ワークショップでは一部定員割れの事業もあったが、参加者の満足度は高い。
- ・新しい参加者を取り込めるよう、事業ごとにリニューアルをはかっている。各事業担当でさらに精査をして、新事業との入れ替えなども今後はかかっていきたい。

【博物館】

○先人記念館

評価項目	評価	備考
1 施設を適正に管理している	4	
2 施設の特徴を活かした事業を展開している	4	
3 利用者の公平な利用に努めている	5	
4 利用者サービスの向上に努めている	3	
5 計画通りの来館者満足度を達成することができた	5	

○原敬記念館

評価項目	評価	備考
1 施設を適正に管理している	4	
2 施設の特徴を活かした事業を展開している	4	
3 利用者の公平な利用に努めている	5	
4 利用者サービスの向上に努めている	4	
5 計画通りの来館者満足度を達成することができた	5	

○石川啄木記念館

評価項目	評価	備考
1 施設を適正に管理している	4	
2 施設の特徴を活かした事業を展開している	4	
3 利用者の公平な利用に努めている	5	
4 利用者サービスの向上に努めている	3	
5 計画通りの来館者満足度を達成することができた	5	

○てがみ館

評価項目	評価	備考
1 施設を適正に管理している	4	
2 施設の特徴を活かした事業を展開している	4	
3 利用者の公平な利用に努めている	5	
4 利用者サービスの向上に努めている	3	
5 計画通りの来館者満足度を達成することができた	5	

現状と課題

・現在、建物自体は経年の割には然程問題ないが、今後課題となってくるのは、節電対策等を含め、電気関係施設の劣化である。また、音声ガイド等、館内視聴覚施設の充実も、時代の流れに合わせ必要になってくると考える。

・ここ数年、来館者数は安定している。しかし、今後は利用者拡大のため、来館のリピートと合わせ、新しい世代への働きかけも必要であると考え。特に若い世代は新市場であり、これからも学校教育とのタイアップは不可欠である。

・館の存在や意義、活動等の周知が、今一つ十分でない様な感じを受ける。従来にも増して広報活動に工夫を加え、展示の紹介や企画の話題性、そして新鮮さもアピールすることが大事であると考え。広報媒体に限られていることが課題である。

・学芸員という専門性の高い職種の性質上、長期的な人材育成システムの構築が望まれる。

・来館者の声に「場所が分りにくい」というものが目立つ。案内表示板の設置が望まれる。(先人記念館・原敬記念館)

・施設の経年劣化が顕著であり、それに伴う予算内での修繕・敷地内の樹木に発生する害虫駆除等が追いつかない状況であるが、来館者へ不便を掛けないように、また、市の財産の適正な管理維持の為、当事業団と盛岡市教育委員会と協議しながら修繕等を速やかに実施してゆく必要がある。(原敬記念館)

・施設利用(生家開放など)について、より利用者のニーズに応えられるように工夫を図る必要がある。

・事務室(館長室・資料調査室)の窓に網戸がなく、空調設備もない。虫菌害・結露等資料にとって好ましくない環境である。清掃等の日常管理で予防に努めたいが、施設の改善を図りたい。(原敬記念館)

・収蔵庫は大正3年築、昭和55年移築された原敬別邸の倉を活用しているが、漆喰の倉とは違い、資料を長期的に保護・活用していくには好ましい環境とは言いにくい。日常の管理の徹底を図るとともに、温湿度管理・虫菌害予防を考慮した収蔵庫の新規設置が望まれる。・前年度より来館者は増加しているが、さらなる増加のために広報活動を進めていきたい。

・トイレがとても古く、全体的に暗くて清潔感がない、洋式がない、トイレへ行くのに段差があり、身障者やお年寄りにとってとても不便であるので、リニューアルが急務である。

・収蔵庫の空調設備がなく、資料の保存に支障をきたしているので整備の必要がある。

・旧洪民尋常小学校、旧齊藤家は、建物の中に入って見学できるのは魅力的だが、建物内は殺風景でうまく活用するように工夫を図りたい。

・入館者増のために広報面を強化しながら、知識がない方も気軽に入館できるよう、工夫を凝らしたい。

・盛岡てがみ館では開館当初より、収蔵庫に空調設備がない。今後の資料保存のためにもエアコンをつける等対策の必要がある。

・来館者数が前年度より減少している。県外修学旅行者やリピーターもいるが、いまだに一般市民や市内小中学校に知られていない場合もあるので、認知度を高めていきたい。(てがみ館)

・おでっビルは築14年目と新しいが、それでも設備面で雨漏りが発生している。昨年度は事務室内のみだったが、展示室や収蔵庫であれば来館者に不便がかかるだけでなく、資料の損傷にもなるので修繕していく必要がある。(てがみ館)

【文化会館・公民館】

○盛岡市民文化ホール

評価項目	評価	備考
1 ホールを適正に管理している	4	
2 ホールの安全・維持に努めている	3	
3 利用者の公平な利用に努めている	5	
4 利用者サービスの向上に努めている	4	
5 計画通りの来館者満足度を達成することができた	5	

○盛岡劇場・河南公民館

評価項目	評価	備考
1 ホールを適正に管理している	4	
2 ホールの安全・維持に努めている	3	
3 利用者の公平な利用に努めている	5	
4 利用者サービスの向上に努めている	4	
5 施設の特性を活かした公民館事業を展開している	3	
6 計画通りの来館者満足度を達成することができた	5	

○都南文化会館・都南公民館

評価項目	評価	備考
1 ホールを適正に管理している	4	
2 ホールの安全・維持に努めている	3	
3 利用者の公平な利用に努めている	5	
4 利用者サービスの向上に努めている	4	
5 施設の特性を活かした公民館事業を展開している	3	
6 計画通りの来館者満足度を達成することができた	5	

○浜民文化会館

評価項目	評価	備考
1 ホールを適正に管理している	4	
2 ホールの安全・維持に努めている	3	
3 利用者の公平な利用に努めている	5	
4 利用者サービスの向上に努めている	3	
5 計画通りの来館者満足度を達成することができた	5	

現状と課題

- ・施設の経年劣化に伴い、随時可能な範囲での修繕を実施しているが、故障・不具合が発生してからの対応のみではなく、中長期的計画に基づく予防対応が必要である。特に大規模修繕については、予算措置も含め計画的な実施が必要である。また、舞台設備等の更新についても担当課へ継続して提案や協議することとしたい。
- ・文化会館、公民館併設館においては、利用区分時間の相違や早開け時の料金設定等の違いなど、両施設を併せて利用する利用者対応において、不都合な点がある。利用者・管理者どちらにとっても明瞭な規定等が必要である。
- ・利用率が低いもしくは下降傾向にある施設については原因の把握と利用率の向上への方策を検討していく必要がある。
- ・開館から24年が経過している盛岡劇場・河南公民館をはじめ、躯体・設備とも老朽化が顕著に表れ、指定管理者が実施できる範囲で利用者サービスの低下に繋がる箇所を優先的に修繕しているが、文化会館4館で500万円という予算内での実施のため支障をきたしている。そのほか大規模な修繕については随時、市に対して要望しているが、厳しい財政状況から予算化が困難であり放置している修繕箇所が多数ある。今後においては、計画的な修繕の実施と修繕費の確保に努めなければならない。
- ・公民館機能を有する施設として、文化会館事業及び社会教育事業にそれぞれ精通した専門的な人材を育成を図り、地域文化コーディネーターを養成し、地域コミュニティに活力をもたらす活動支援を行う必要がある。
- ・マーケティング戦略を練るとともに、市民ニーズを常に意識した事業展開を行い、実施した事業等のアウトカムを検証して効果的かつよりよい運営を行わなければならない。
- ・市の施策と一体となり、環境と調和しつつ持続可能な形で河南地区を維持、発展させるため、市民協働事業を行いながら地域に根差した施設としての役割を十分果たしていく。
- ・事業団が管理運営する文化会館・公民館・博物施設はもとより、関連施設との連携事業を模索し「事業団らしさ」を打ち出していく。